

JO NAPOT! ヨー・ナポト! No. 52

Gifu - Hungary Friendship Association

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2012. 6発行

初夏の候となりました。皆様、お変わり無くお過ごしでしょうか。久しぶりの会報誌ですが、この間に、金環日食が話題となり宇宙の壮大さを感じることができました。一方、日本列島では大地震のキズも癒えない中で過去最大とも言える竜巻が起り自然の驚異を感じました。宇宙の中の地球、地球の中の日本、日本の中の人間、人間は森羅万象様々な刹那の中で生きています。

1. 【特報】

リーヴィース安奈さん、ハンガリー美術高校作品コンペティションで最優秀賞に輝く



(安奈さんの受賞を報じる現地の新聞)

会員で下呂市小坂町に住む、リーヴィースチャバさんと康子さんの長女安奈さんは、絵の勉強のためハンガリー・ペーチ市の高校に留学して勉強を続けていました。

安奈さんは、これまでの努力もあり度々個展を開催するだけの評価を受けていましたが、卒業を控えた5月に第21回ハンガリー美術高校作品コンペティションで最優秀賞に選ばれました。おそらく、日本人の受賞は初めてのことではないかと思えます。安奈さんは、今年で20歳になりましたが、もう1年勉強が出来るとのことで、学校に通うことにしているそうです。

将来楽しみな美術家が生まれました。

2. セルダヘイ大使と懇親 ～ 大使館訪問 ～

1月13日(金)新春のご挨拶のため、東京三田のハンガリー共和国大使館を山田会長と頼瀬理事が訪問しました。大使館では、新任のセルダヘイ・イシュットバーン大使と懇談し、今年の事業計画など話し合いました。この席上、昨年夏に猛烈な勉強をして外交官の資格を得たカールマン・アンドレアさんも同席し、当協会の活動に協力すると約束していただきました。

3. 第18回理事会・総会の開催

第18回の岐阜県ハンガリー友好協会理事会・総会を、1月14日（土）の14時から岐阜グランドホテル本館2階の「孔雀の間」で開催しました。

今年は、マスターコースなど7項目の活動計画が発表され、了承されました。



(理事会・総会の様子)

4. 第18回「ハンガリーの夕べ」可児市で開催



(挨拶をされるセルダヘイ大使)

セルダヘイ大使をお迎えし、第18回「ハンガリーの夕べ」を2月10日（金）に可児市で開催しました。可児市での開催は初めてのことで、富田市長や可児市議会議長を始めとする市の重鎮や文化人など約80名が参加されました。

会場となった可児市文化創造センターでは、小劇場でリスト音楽院修了生の大迫綾香さん（ヴァイオリン）、星野智也さん（チェロ）、山田真吾さん（チェロ）、立川訓子さん（チェロ）を始め、楽友会員の五島史誉さん（ピアノ）、伊藤絵里奈さん（ピアノ）、堀朋子さん（ソプラノ）がステージに立ち、今年初めてとな

るコンサートを飾ってくれました。続いて、レセプションホールに移りハンガリー料理とワインに舌鼓を打つパーティーに入りました。パーティーでは、協会のチャーターメンバーで前美濃加茂市長の川合良樹氏が、初めてブダペストを訪問した当時のことを話され、続く可児市長の富田氏も前職の県庁時代にハンガリーを訪問された思い出を話され、それぞれ共感を集めていました。セルダヘイ大使は、大使として2度目の赴任を嬉しく思うこと、岐阜県の重要な人たちがハンガリーを訪問していて、交流が一層強くなると感謝の言葉を話されていました。

この後乾杯となり、集まった人々は大使館のモルドバン料理長とシティホテル美濃加茂の渡辺料理長が共同で作られたハンガリー料理を楽しみ、ハンガリーワインに酔いしれる一時を過ごされました。

5. 10周年を迎えた「フレンドシップコンサート」は、熱気につつまれ盛大に閉幕

第10回となる「フレンドシップコンサート」が3月25日（土）と26日（日）の2日間、ブダペストのリスト音楽院記念館オールドホールで開催されました。このコンサートは、当協会の企画で2003年から始まったものです。

今回は、10周年を記念して、現在の留学生に加えて帰国修了生や教授達が参加をして開催されました。友好協会では、コンサートに併せて訪問団を編成し、コンサート鑑賞や観光、それに公式行事なども交えてツアーを計画しました。また秋に留学する音楽家を対象とした留学ツアーも開催しました。3つのグループが個々にハンガリー入りしたことが

ら混乱もありましたが、ヴェスプレーム県との交流やリスト音楽院でのバッタ院長との会談など無事に済ませることができました。

「フレンドシップコンサート」は1日目に留学生や修了生がソロ、デュオ、トリオを組みドホナーニやリスト、ポッパー、メンデルスゾーン、そしてシューマンなどの曲を披露しました。また、最後には修了生たちが舞台上立ち、東日本大震災に対するハンガリーからの支援に感謝の言葉を述べ、ハンガリーは第2の故郷ですとして「ふるさと」を合唱し大きな共感を得ていました。

2日目には、開演前にバッタ院長が10周年のお祝いの挨拶をされ、その後、山田会長の挨拶に続き、ハンガリーアーティスト協会から山田会長にヘレンド製のリスト胸像が贈られました。コンサートは、サバディ準教授、オンツァイ教授、ファルヴァイ教授がそれぞれ留学生や修了生と共演し、後半には教授陣がメンデルスゾーンのピアノ三重奏曲を演奏しました。教授と修了生の共演はレベルの高い見事な内容でしたが、3教授の演奏は、ハンガリーでもめったに見られないことから、満員の会場は最後まで熱気に包まれていました。



(コンサートで演奏する教授陣)

6. 「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」開催近づく

今夏の「マスターコース」は、7月26日関市文化会館、27日奥飛騨総合文化センター（予定）、29日サラマンカホールでコンサートが開催されます。今年は、10月9日からぎふ清流国体・大会が開催されることから、サラマンカホールのコンサートが文化プログラム事業となり趣のある内容になっています。会場近くの会員の皆様は、家族やお友達を誘ってお出かけください。チケットは、事務局までお問い合わせください。

一方レッスンは、7月30日から8月4日までサラマンカホールを中心に、クララザール、岐阜市文化センターとグランベール岐山の各会場に別れてピアノ、チェロ、ヴァイオリン部門が開催されます。留学選考会は、5日午前にサラマンカホールで開催されます。毎年、熱心な音楽家が岐阜に集まり、リスト音楽院教授陣のレッスンを受けています。レッスンは、入場無料で見ることができますので見学をしてみたいはいかがでしょうか。

この後の予定

コーシャ・フェレンツ写真展 秋の開催予定